

2027年3月期第1四半期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<https://transgenic-group.co.jp>

2026年8月12日
株式会社トランスジェニックグループ

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I.	2027年3月期第1四半期連結決算概要	・ ・ ・ 2
II.	創薬支援事業の状況	・ ・ ・ 4
III.	投資・コンサルティング事業の状況	・ ・ ・ 8
IV.	2027年3月期連結業績予想	・ ・ ・ 11

A large, light blue circular arc with two smaller orange circles inside it, positioned behind the main title text.

I . 2027年3月期第1四半期連結決算概要

当第1四半期連結業績は、投資・コンサルティング事業の好調な推移を受け、売上高・各利益ともに前年同期比で大幅な増収増益を達成。

➤ 創薬支援事業

前期に実行した構造改革の効果により費用構造が大きく改善。売上高は、前年同期比△22.9%の減収となったものの、営業損失は赤字幅が縮小（+9百万円改善）。

➤ 投資・コンサルティング事業

商社事業における大型案件の5月度納品集中が主因となり、売上高は、前年同期比+22.4%の増収、営業利益についても前年同期比+87.6%と大幅増加となり、全社業績を牽引。

売上高 3,659百万円 前年同期比 +461百万円

前年同期	3,197百万円	+14.4%	+461百万円
創薬支援事業	435百万円	△22.9%	△129百万円
投資・コンサルティング事業	3,224百万円	+22.4%	+590百万円
本社・連結調整	△1百万円	－%	－百万円

営業利益 163百万円 前年同期比 +118百万円

前年同期	45百万円	+261.2%	+118百万円
創薬支援事業	△14百万円	－%	+9百万円
投資・コンサルティング事業	220百万円	+87.6%	+102百万円
本社・連結調整	△42百万円	－%	+6百万円

経常利益 156百万円 前年同期比 +94百万円

前年同期	61百万円	+154.3%	+94百万円
------	-------	---------	--------

親会社株主に帰属する

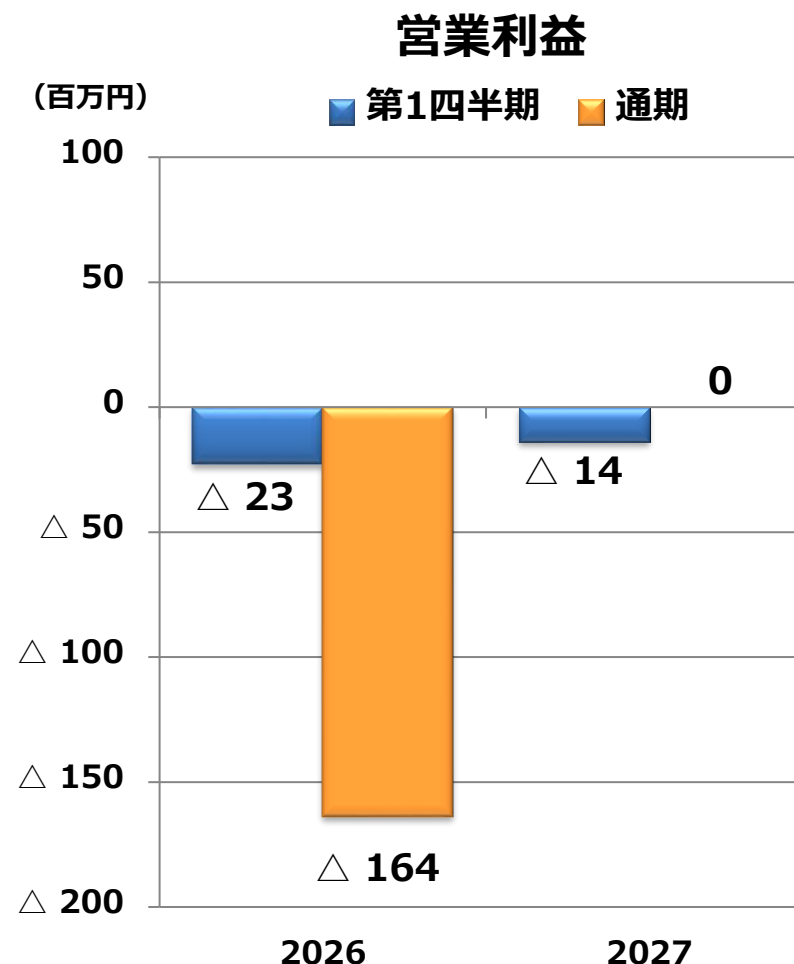
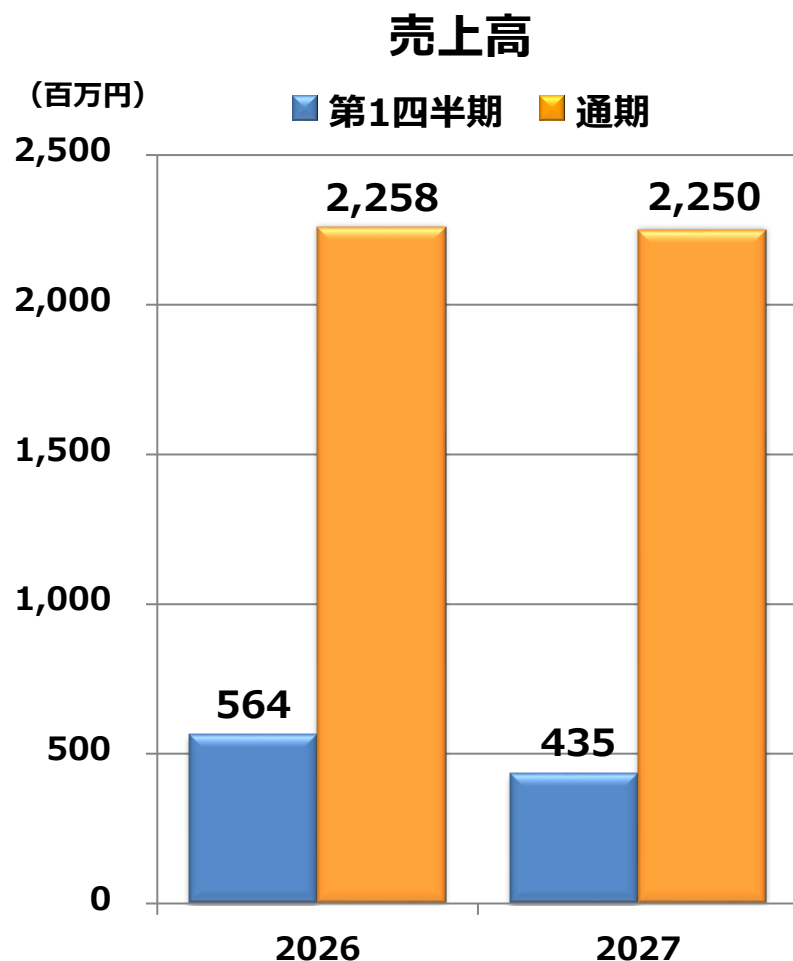
当期純利益 136百万円 前年同期比 +109百万円

前年同期	26百万円	+404.6%	+109百万円
------	-------	---------	---------



Ⅱ．創薬支援事業の状況

- 構造改革の成果発現：前期に実施した構造改革の効果により、売上原価・販管費の費用負担が大幅に減少。
- 収益体質の改善：前年同期比△22.9%の減収となったものの、固定費削減をはじめとする徹底した費用抑制により、営業損失は赤字幅が縮小（前年同期比+9百万円改善）。



- 徹底した固定費削減と原価抑制により、129百万円（前年同期比△22.9%）の減収となった一方、営業損益は+9百万円の改善。

①売上原価率の改善 3.3pt

（85.0%→81.7%、3.3pt改善）

②販管費の圧縮 14百万円

（前年同期比△14百万円、13.1%の削減）

③営業損益の改善 +9百万円

（△23百万円→△14百万円）

科 目 単位：百万円	2026 第1四半期	2027 第1四半期	差 異	コ メ ン ト
売 上 高	564	435	△129	当第1四半期累計期間の完了試験は例年に比し減少。一方、当第1四半期末の繰越受注残は前年同期比+183百万円と順調に推移しており、通期売上高は計画通り前年並みの2,250百万円を見込む。
売 上 原 価 （ 原 価 率 ）	479 （85.0%）	355 （81.7%）	△124 （△3.3%）	業務効率化・固定費削減により原価率は3.3ptの改善。
売 上 総 利 益	84	79	△5	129百万円の減収となった一方、売上総利益の減少は5百万円に留まる。
販 管 費	108	94	△14	固定費削減により販管費は14百万円（前年同期比13.1%）の圧縮。
営 業 利 益	△23	△14	+ 9	129百万円の減収となった一方、営業損益は+9百万円の改善。

- 2026年7月7日～9日

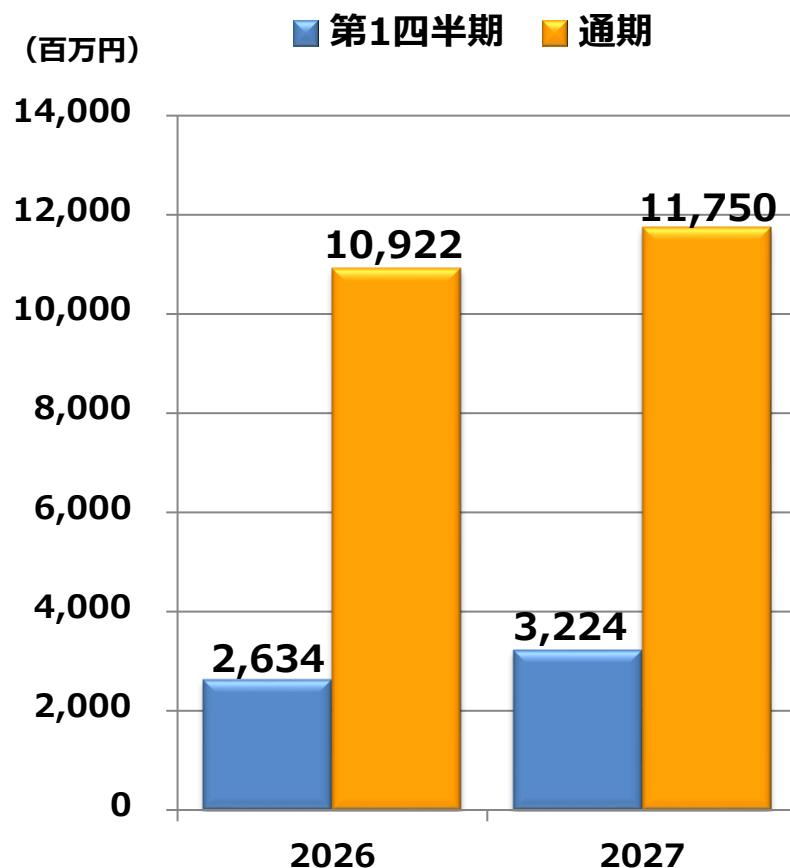
7

A large, light blue, stylized circular graphic with two orange circles inside, positioned behind the section header text.

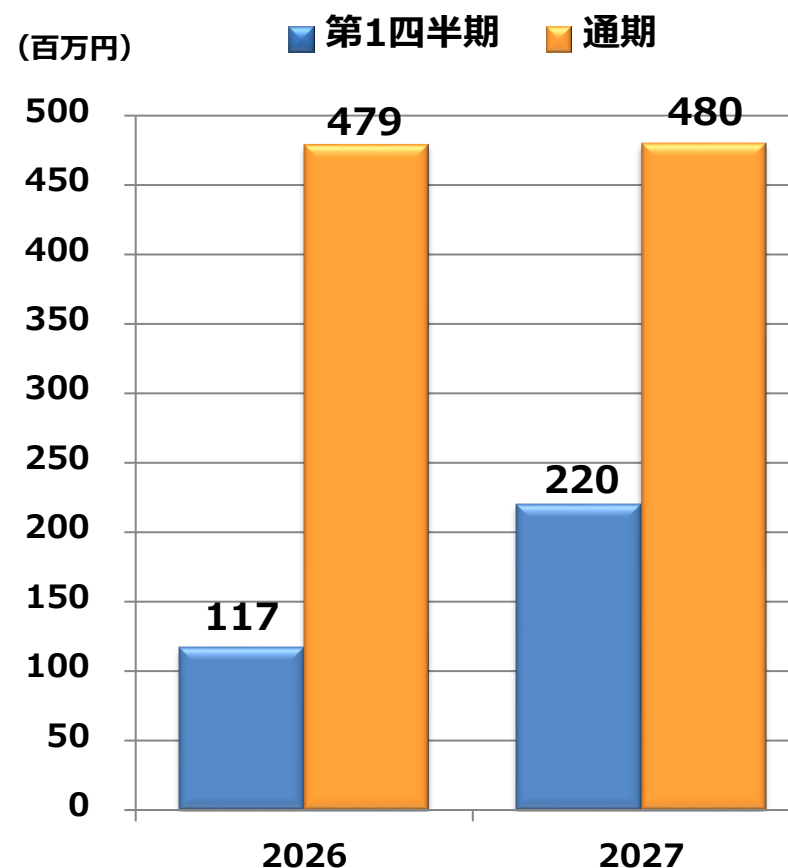
Ⅲ. 投資・コンサルティング事業の状況

- 商社事業における大型案件の5月度納品集中等により、売上高3,224百万円（前年同期比+22.4%）、営業利益220百万円（前年同期比+87.6%）と大幅な増収増益を達成。
- 当第1四半期時点での通期予想に対する進捗率は高水準（営業利益進捗率45.9%）であるものの、第2四半期以降の需要動向や事業環境の変化を慎重に見極め、引き続き業績管理を徹底。

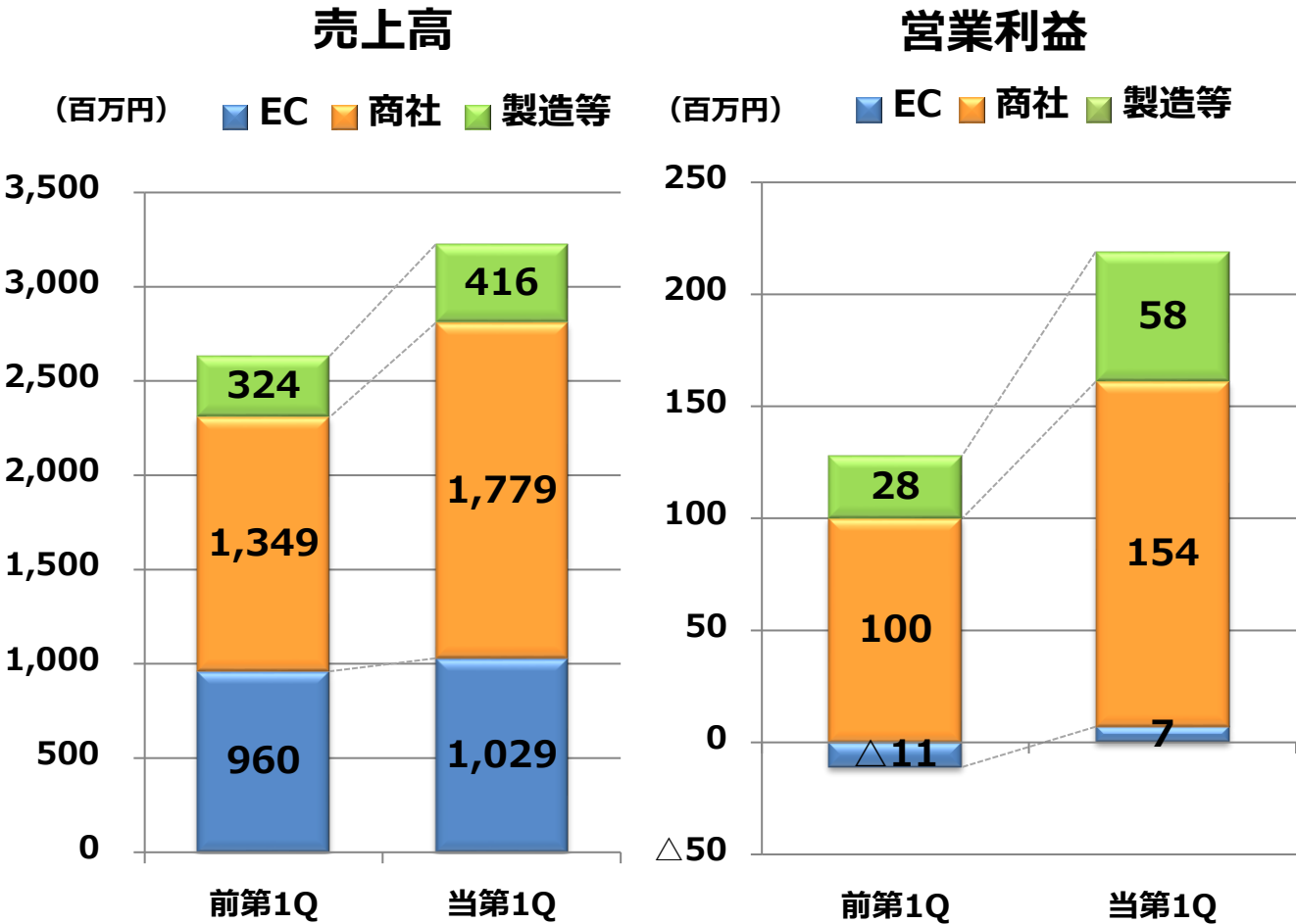
売上高



営業利益



➤ 商社事業における大型案件の納品集中に加え、EC事業の黒字化および製造等事業での価格転嫁が進み、全ての事業部門において前年同期比で増収増益を達成。セグメント利益は220百万円（前年同期比+87.6%増）と大幅に拡大。



部 門	項 目	増 減 単位：百万円	コ メ ン ト
E C (黒字化)	売 上 高	+69	物価高の浸透に伴い流通量が回復。適切な価格転嫁と在庫適正化の結果、営業利益+19百万円改善により黒字に転換。
	営 業 利 益	+19	
商 社 (牽引)	売 上 高	+429	5月度における大型案件の納品・利益計上が寄与し、第1四半期における売上・セグメント利益全体の押し上げを牽引。
	営 業 利 益	+54	
製造等 (堅調)	売 上 高	+91	仕入高騰等に対する適正な価格交渉と徹底したコスト管理を推進し、安定的な粗利確保を進め堅調に増益。
	営 業 利 益	+29	
合 計	売 上 高	+590	大型案件の爆発力と既存事業の収益改善が噛み合い、全ての事業部門において前年同期比で大幅な増収増益を達成。
	営 業 利 益	+102	



IV. 2027年3月期連結業績予想

当第1四半期における利益計画の進捗率は高水準（営業利益進捗率62.9%）で推移しておりますが、第2四半期以降の需要動向や事業環境の変化を慎重に見極めるため、通期業績予想は期初計画を据え置き推移を注視してまいります。

単位：百万円	2027年3月期 (通期業績予想)	2027年3月期 第1四半期(実績)	進捗率 (%)
売上高	14,000	3,659	26.1
創薬支援事業	2,250	435	19.4
投資・コンサルティング事業	11,750	3,224	27.4
本社・連結調整	0	△1	－
営業費用	13,740	3,495	25.4
創薬支援事業	2,250	450	20.0
投資・コンサルティング事業	11,270	3,004	26.7
本社・連結調整	220	40	18.5
営業利益	260	163	62.9
創薬支援事業	0	△14	－
投資・コンサルティング事業	480	220	45.9
本社・連結調整	△220	△42	－
経常利益	200	156	78.2
親会社株主に帰属する当期純利益	150	136	90.7



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<https://transgenic-group.co.jp>